

EYECAD ネットワーク認証方式

2024年11月	2.2. 動作環境 ライセンスサーバーPCのOSについての記載を変更 サポートするクラウド環境についての記載を変更
2024年06月19日	3-1. ドライバ、テスト、ツールのダウンロードの記載を変更
2023年10月20日	3-3. ライセンスサーバーPCへのドライバのインストール 記載を変更
2023年04月18日	2.2. 動作環境 ライセンスサーバーPCのOSについての記載を変更 3-3. ライセンスサーバーPCへのドライバのインストール 記載を変更
2023年01月06日	2.2. 動作環境 クラウド環境の仮想マシンをライセンスサーバーとして使用可能を追加 クライアントPCのグラフィックスボードを修正 3-1. ドライバ、テスト、ツールのダウンロードを修正
2021年10月11日	8. ライセンスサーバーPC故障時におけるライセンス回復の手順を追加 A.3-4の記載を変更
2021年08月26日	VPNについての記載を変更 ライセンスサーバー指定についての記載を追加
2021年02月09日	2. 概要、9. Q&Aを追加
2020年10月23日	ネットワーク環境、VPNについての記載を変更 4-5. ネットワーク認証テストを追加 7. オプションライセンス追加・ライセンス更新の手順を追加
2020年04月22日	NetLicTool.exe, NetLicServer.exeの実行時の権限について追記
2020年02月20日	新規作成
作成日	コメント

目次

1.	はじめに.....	3
2.	概要.....	4
2-1.	ネットワーク認証方式とは.....	4
2-2.	動作環境.....	5
3.	準備とドライバのインストール.....	7
3-1.	ドライバ、テスト、ツールのダウンロード.....	7
3-2.	ドライバ、テスト、ツールの解凍.....	7
3-3.	ライセンスサーバーPC へのドライバのインストール.....	8
3-4.	クライアント PC へのドライバのインストール.....	8
4.	ネットワーク認証方式の利用可否テスト.....	9
4-1.	テストライセンスの作成.....	9
4-2.	接続のテスト.....	11
4-3.	接続中クライアント PC 数の確認.....	14
4-4.	接続の解除.....	14
4-5.	ネットワーク認証テスト.....	15
4-6.	テストライセンスの削除.....	17
5.	ネットワーク認証方式の導入手順.....	18
5-1.	ライセンスサーバー情報ファイル:hostid(PC 名).c2v の作成.....	19
5-2.	HEXAGON へライセンスサーバー情報ファイルの送付.....	20
5-3.	ライセンスサーバーでライセンスのインストール.....	21
5-4.	KeyID 情報ファイル KeyID.c2v を HEXAGON へ送付.....	22
5-5.	最大借用可能日数の変更.....	23
6.	クライアント PC の設定.....	24
6-1.	ネットワーク認証方式(Net 認証)への切替え.....	24
6-2.	Net 認証のリトライ回数とライセンスサーバーPC の指定.....	25
7.	オプションライセンス追加・ライセンス更新の手順.....	27
7-1.	KeyID 情報ファイル KeyID.c2v の作成.....	27
7-2.	KeyID 情報ファイル KeyID.c2v を HEXAGON へ送付.....	28
7-3.	ライセンスサーバーPC でライセンスのインストール.....	29

7-4.	KeyID 情報ファイル KeyID.c2v を HEXAGON へ送付.....	30
8.	ライセンスサーバーPC 故障時におけるライセンス回復の手順.....	31
8-1.	KeyID 情報ファイル KeyID.c2v の作成	32
8-2.	KeyID 情報ファイル KeyID.c2v を HEXAGON へ送付.....	33
8-3.	ライセンスサーバーで KeyID の回復.....	34
9.	ネットワーク認証方式 Q&A.....	35
9-1.	基本.....	35
9-2.	使用環境.....	35
9-3.	ライセンスと保守.....	36
9-4.	ソフト起動のライセンス	37
9-5.	ライセンスの借用.....	38
10.	お問い合わせ	40

1. はじめに

- EYECADのライセンス認証方式はV9から従来のHASP方式(Local認証)に加えネットワーク認証方式(Net認証)が追加されました。
- 本書は、EYECADのネットワーク認証方式の概要、利用可否テスト、新規導入手順およびライセンス更新手順について記載しています。
- 導入検討している方は[概要](#)をお読みください。
- ネットワーク認証方式の利用可否を確認したい方は[準備とドライバのインストール、ネットワーク認証方式の利用可否テスト](#)をお読みください。
- 実際の運用は[準備とドライバのインストール、ネットワーク認証方式導入手順、クライアントPCの設定、オプションライセンス追加・ライセンス更新の手順](#)をお読みください。
- ネットワーク認証方式について疑問点がある方は、[ネットワーク認証方式Q&A](#)をお読みください。
- 記載内容はバージョンアップ等によって予告なしに変更する場合があります。

2. 概要

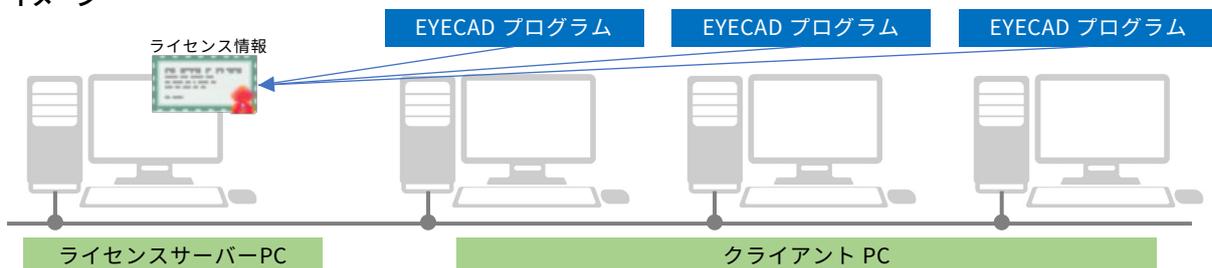
2-1. ネットワーク認証方式とは

ネットワーク認証方式はネットワーク上のライセンスサーバーPCでEYECADライセンス情報を管理します。

※ライセンス情報は従来のHASPキーに相当するKeyID単位で管理されます。

同一ネットワーク上の各クライアントPCでEYECADプログラムを実行時にライセンスサーバー上のEYECADライセンス情報を確認します。

イメージ



2.1-1 ネットワークライセンス利用のメリット

- ・ HASP キーの紛失、破損リスクの解消
- ・ オプションソフトウェアライセンスの共有使用
- ・ ライセンスを借用することで外出先などオフライン環境でも使用可能
- ・ ライセンスサーバーPC の変更手続きはお客様ご自身で可能

2.1-2 ネットワークライセンス利用のデメリット

- ・ ネットワークトラブルが発生した場合、全ライセンスが使用不可
- ・ Ver.8 以前のバージョンでは使用不可

2.1-3 ネットワークライセンス利用の注意点

- ・ ライセンスサーバーPC の OS がインストールされているドライブ全体もしくはディスクのクローンを作成してください。
- ・ ライセンスサーバーPC のマザーボードと OS がインストールされているドライブが同時に変更になった場合、全てのライセンスが無効になります。
- ・ 当社では原則ライセンスの再発行はできません。

2.1-4 ネットワークライセンス利用の制約事項

- ・ ネットワークライセンス認証の使用にはソフトウェア保守契約が必須です。
- ・ 保守契約を解約した場合、解約日以降は使用できません。

- ・ 例) KeyID:1234567(PIPE,SUPT)の内 SUPT のみ保守解約した場合、SUPT のみ使用できません。

2.1-5 ライセンスの移行

- (1) HASP キーからネットワークライセンスへライセンス移行する場合
当社からネットワークライセンス (KeyID) を E-Mail で納品します。
ネットワークライセンス (KeyID) の動作確認後、移行対象の HASP キーを HEXAGON へ返却します。
例) HASP No.11223344(PIPE,SUPT) → KeyID 5566778899(PIPE,SUPT)
- (2) ネットワークライセンスから HASP キーへライセンス移行する場合
HEXAGON から新規 HASP キーを納品します。
新規 HASP キーの動作確認後、ライセンスサーバーPC から移行対象のネットワークライセンス (KeyID) を削除します。
例) KeyID 5566778899(PIPE,SUPT) → HASP No.11223344(PIPE,SUPT)

2-2. 動作環境

2.2-1 ライセンスサーバーPC

ライセンスサーバーPC	
OS	Windows Server 2016、Windows Server 2019、Windows Server 2022、 Windows 10、Windows 11 <small>※最新のサービスパックおよびセキュリティアップデートをインストールする必要があります。</small>

クラウド環境の仮想マシンをライセンスサーバーとしてご使用できます。

クラウド環境でご使用の場合、営業もしくは技術担当へご相談ください。

EYECAD 対応 Ver.は 9.10.00 以降が必要です。

サポートするクラウド環境は Amazon EC2、Microsoft Azure、Google Cloud Platform、Alibaba Cloud の仮想マシンとなります。

※デスクトップ環境の仮想マシンはライセンスサーバーとしてご使用できません。

※仮想マシンを複製した場合は複製ライセンスは無効となります。

2.2-2 クライアント PC (EYECAD 用 PC)

クライアント PC	
OS	Windows 10、11 Pro (64bit のみ)
CPU	Core i5、Core i7、Core i9、Xeon E3 以上
メモリ	8GB 以上
HDD	80GB 以上
グラフィックスボード	NVIDIA 社 GeForce、Quadro、RTX、T シリーズ

※詳細は「EYECAD セットアップの手引き」をご参照下さい。

2.2-3 ネットワーク環境

TCP/UDP のポート 1947 で通信が可能であること。

VPN 環境やライセンスサーバー PC とクライアント PC は同一のサブネットにない場合はライセンスサーバー検索の設定が必要です。

※お客様の環境によっては、ご使用できない場合があります。

その際は別途ご相談下さい。

3. 準備とドライバのインストール

3-1. ドライバ、テスト、ツールのダウンロード

下記サイトから NetTest.zip のダウンロードを行います。

<https://document.eyecad.online/>

- (1) ダウンロードした NetTest.zip を任意のフォルダに保存します。



3-2. ドライバ、テスト、ツールの解凍

ダウンロードした NetTest.zip をライセンスサーバーPC とクライアント PC の任意のフォルダにコピーして解凍します。

NetTest フォルダにドライバ、テスト、ツールに関するファイルが解凍されます。



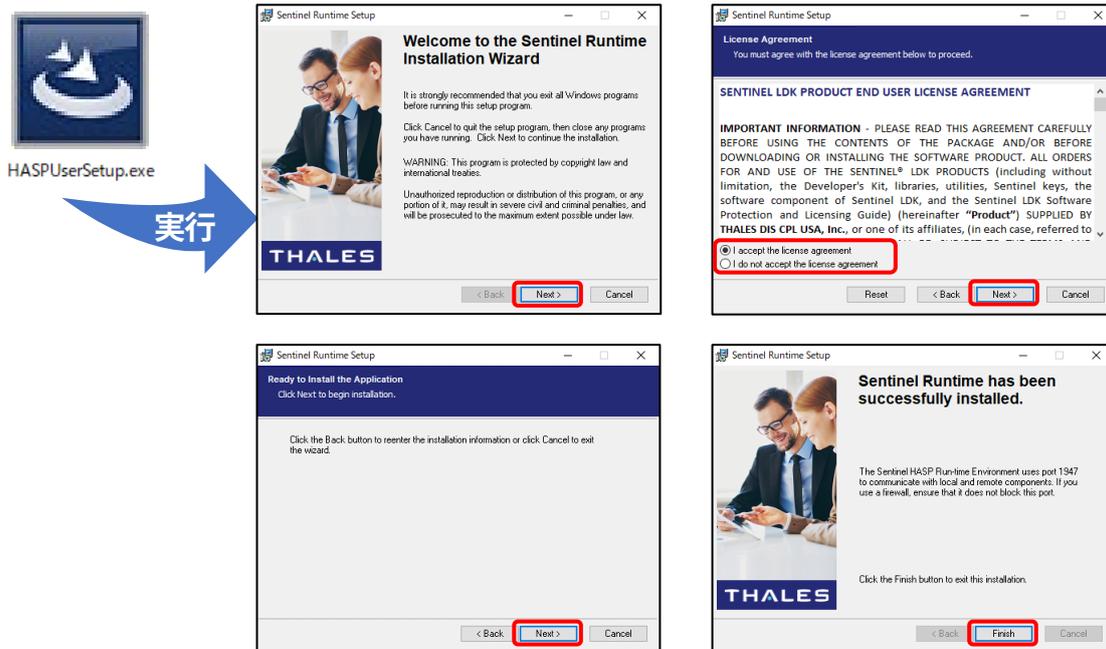
NetTest フォルダ内ファイル一覧

- copy_hasplib.bat
- HASPUserSetup.exe
- NetDetachMaxDays.exe
- NetLicServers.exe
- NetLicTool.exe
- NetTestClient.exe
- NetTestServer.exe
- NetTestView.exe
- RUS_QTQMC.exe
- hasp_windows_48350.dll
- hasplib_48350.dll
- sntl_adminapi_windows.dll
- sntl_licgen_windows.dll

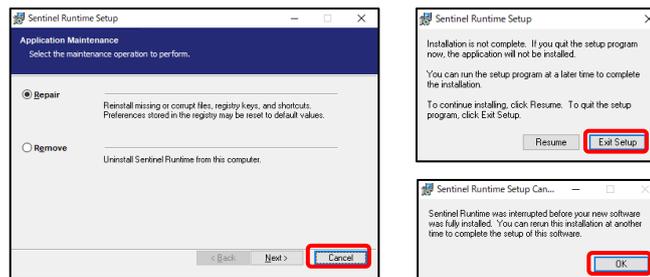
3-3. ライセンスサーバーPC へのドライバのインストール

ライセンスサーバーPC で解凍した HASPUserSetup.exe を実行します。

※ネットワーク認証方式の利用は本ドライバをインストールする必要があります。
インストールは管理者権限が付与されているユーザで行って下さい。



既に最新版がインストール済みの場合は以下のダイアログが表示されます。
インストールの中止をして下さい。

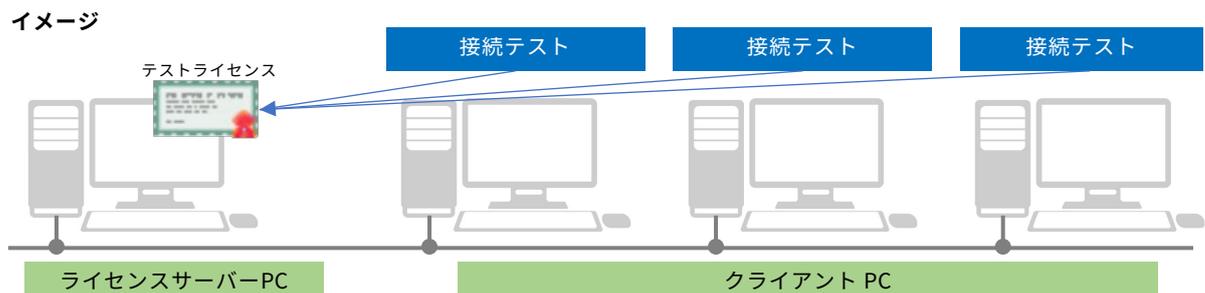


3-4. クライアント PC へのドライバのインストール

クライアント PC でも上記の手順に従ってクライアント PC で解凍した HASPUserSetup.exe を実行します。

※ネットワーク認証方式の利用は本ドライバをインストールする必要があります。
全てのクライアント PC にドライバをインストールする必要があります。
インストールは管理者権限が付与されているユーザで行って下さい。

4. ネットワーク認証方式の利用可否テスト
 ご使用中のネットワーク環境でネットワーク認証方式がご利用可能かのテストを行います。
 ライセンスサーバーPCにテストライセンスを作成し、各クライアントPCから接続テストを行います。
 ※事前に[準備とドライバのインストール](#)を行って下さい。



4-1. テストライセンスの作成

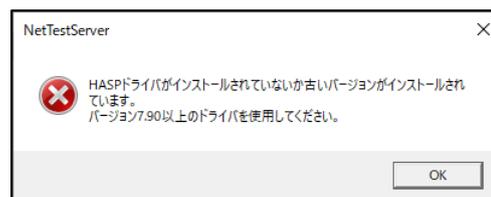
ライセンスサーバーPC でテストライセンスを作成します。

- (1) NetTestServer.exe を実行します。

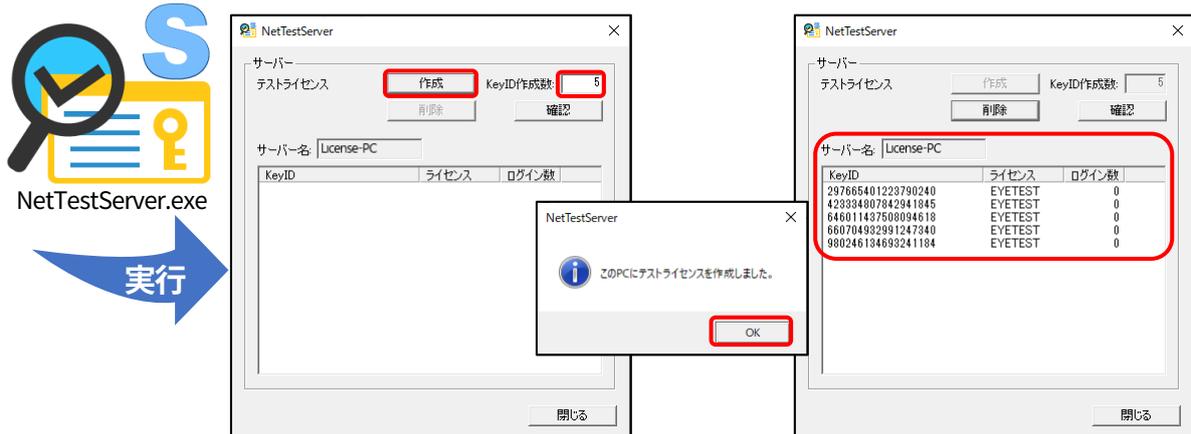
※実行は管理者権限が付与されているユーザで行って下さい。

エラーメッセージが表示された場合はライセンスサーバーPC に正しい HASP
 ドライバがインストールされていません。

[ライセンスサーバーPC へのドライバのインストール](#)を行って下さい。



- (2) KeyID 作成数を入力し作成ボタンをクリックします。
(KeyID 作成数：HASP キーに相当する使用予定のライセンス数)
サーバー名、KeyID、ライセンス、ログイン数が表示されます。
※全てのテストが終了するまでダイアログを閉じないで下さい。



※サーバー名はライセンスサーバーPC名
KeyID はテストライセンス作成時のたびに生成される ID

4-2. 接続のテスト

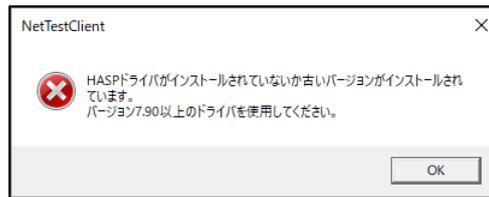
クライアント PC で接続テストをします。

※全てのクライアント PC で接続テストを実行して下さい。

(1) NetTestClient.exe を実行します。

エラーメッセージが表示された場合はクライアント PC に正しい HASP ドライバがインストールされていません。

[クライアント PC へのドライバのインストール](#)を行って下さい。



ライセンスの取得を特定のライセンスサーバーPC に限定したい場合は以下の手順で設定して下さい。

- ・設定ボタン(⚙️)で設定ダイアログを表示します。
- ・ライセンスサーバ指定のチェックボックスを ON にします。
- ・ライセンスサーバーPC の IP アドレスもしくはマシン名を設定します。

※クライアント PC がライセンスサーバーを兼ねている場合は、ライセンスサーバーPC に他の PC を指定しても自 PC にあるライセンスは取得可能です。

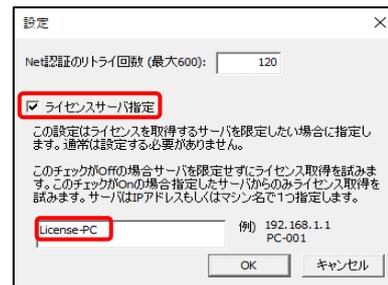


NetTestClient.exe

実行



- ・ライセンスサーバ指定を ON
- ・ライセンスサーバーPC 名を設定

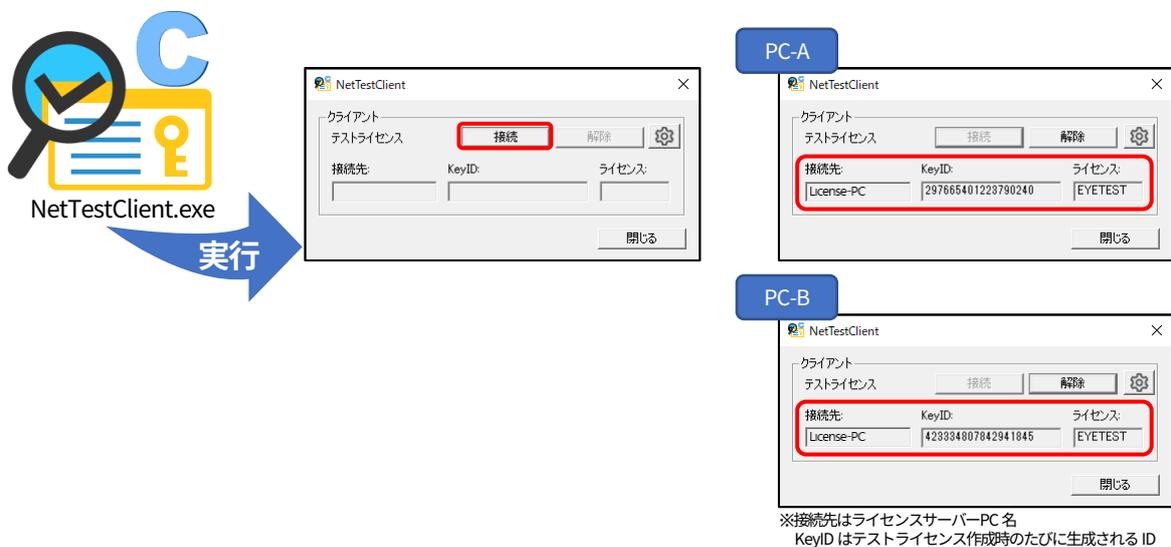


(2) 接続ボタンをクリックします。

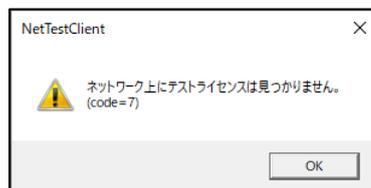
接続が成功すると、接続先、KeyID、ライセンスにライセンスサーバーの情報が表示されます。成功したクライアント PC でネットワーク認証方式のご利用が可能です。

エラーメッセージが表示される場合や、ライセンスサーバーの情報が表示されない場合、問題を解消するまでネットワーク認証方式のご利用が出来ません。

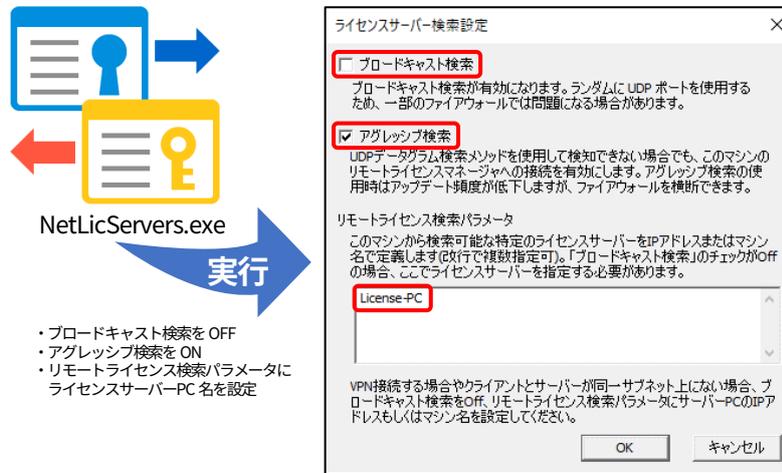
※全てのテストが終了するまでダイアログを閉じないで下さい。



エラーメッセージ(code=7)が表示された場合は
クライアント PC にドライバがインストールされていないか、
ライセンスサーバーからライセンスを取得できない状況です。
[クライアント PC へのドライバのインストール](#)を行って下さい。
または、貴社内の情報システム管理者に相談して下さい。



※VPN 接続する場合やクライアント PC とライセンスサーバーPC が同一サブ
ネットに無い場合は、NetLicServers.exe を実行し [ライセンスサーバー検索の
設定](#)を行って下さい。



NetLicServers.exe

実行

- ・ブロードキャスト検索を OFF
- ・アグレッシブ検索を ON
- ・リモートライセンス検索パラメータにライセンスサーバーPC名を設定

ライセンスサーバー検索設定

ブロードキャスト検索
ブロードキャスト検索が有効になります。ランダムに UDP ポートを使用するため、一部のファイアウォールでは問題になる場合があります。

アグレッシブ検索
UDPデータグラム検索メソッドを使用して検知できない場合でも、このマシンのリモートライセンスマネージャへの接続を有効にします。アグレッシブ検索の使用時はアップデート頻度が低下しますが、ファイアウォールを横断できます。

リモートライセンス検索パラメータ
このマシンから検索可能な特定のライセンスサーバーをIPアドレスまたはマシン名で定義します(改行で複数指定可)。「ブロードキャスト検索」のチェックがOffの場合、ここでライセンスサーバーを指定する必要があります。

License-PC

VPN接続する場合やクライアントとサーバーが同一サブネット上にない場合、ブロードキャスト検索をOff、リモートライセンス検索パラメータにサーバーPCのIPアドレスもしくはマシン名を設定してください。

OK キャンセル

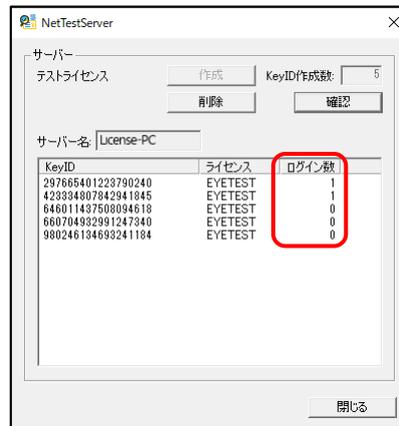
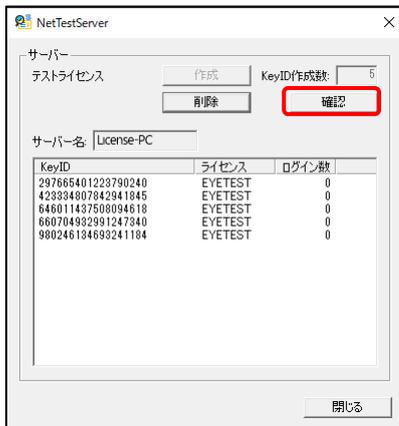
4-3. 接続中クライアント PC 数の確認

ライセンスサーバーPC で接続中のクライアント PC 数の確認をします。

- (1) 確認ボタンをクリックします。

ログイン数が更新されます。

ライセンスサーバーに接続しているクライアント PC 数と表示されているログイン数が一致していることを確認して下さい。



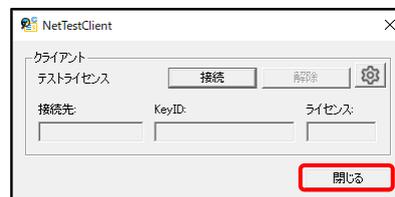
※サーバー名はライセンスサーバーPC名
KeyID はテストライセンス作成時のために生成される ID

4-4. 接続の解除

クライアント PC で接続を解除します。

※全てのクライアント PC で接続の解除を実行して下さい。

- (1) 解除ボタンをクリックします。
- (2) 接続先、KeyID、ライセンスが空欄になったことを確認し閉じるボタンをクリックします。



※接続先はライセンスサーバーPC名
KeyID はテストライセンス作成時のために生成される ID

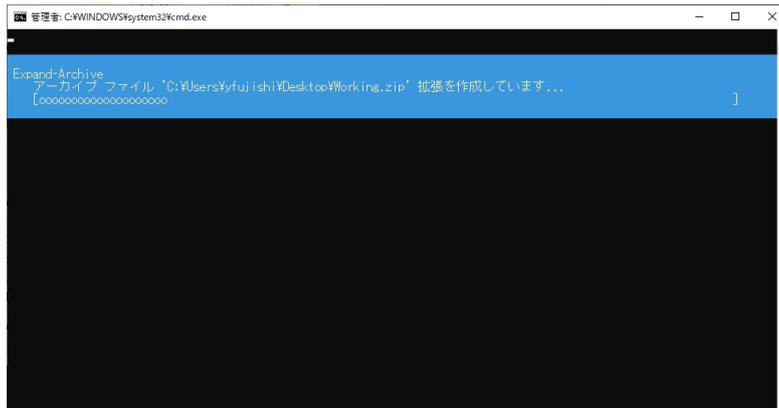
4-5. ネットワーク認証テスト

クライアント PC でネットワーク認証のテストをします。

※全てのクライアント PC でネットワーク認証のテストを実行して下さい。

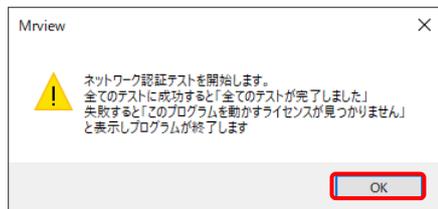
(1) NetTestView.exe を実行します。

下の画面が表示されネットワーク認証のテストが始まります。

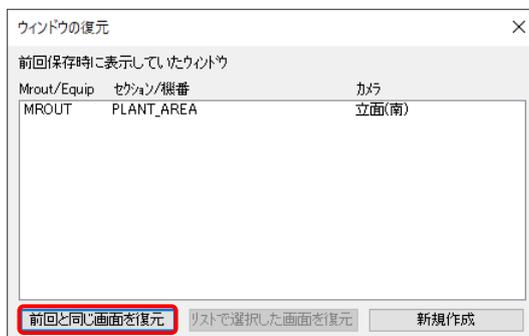


(2) テスト用 Mrview が起動し、ネットワーク認証テストの説明ダイアログが表示されます。

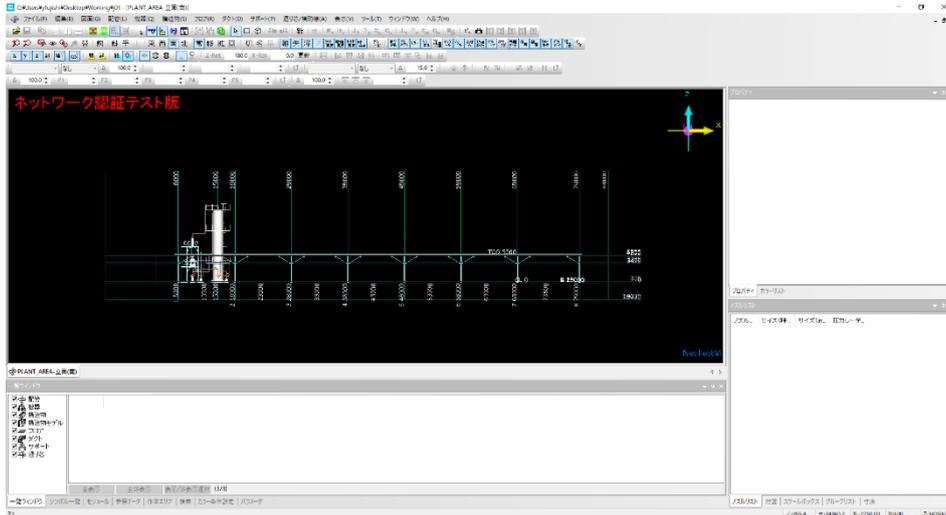
下のダイアログで OK ボタンをクリックします。



(3) 下のダイアログで前回と同じ画面を復元ボタンをクリックします。



- (4) 3D モデルデータが表示されます。
ネットワーク認証テストの結果が表示されるまで待ちます。



成功／失敗ダイアログが表示されたら OK ボタンを押します。



成功ダイアログ



失敗ダイアログ

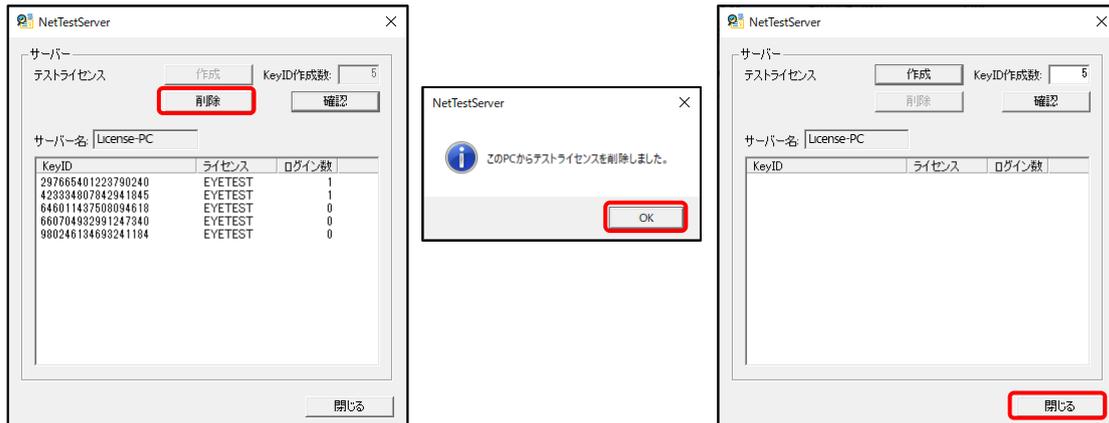
失敗ダイアログが表示された場合、問題を解消するまでネットワーク認証方式のご利用が出来ません。

※ネットワーク認証テストプログラムが終了すると、自動でテストデータの削除が行われます。

4-6. テストライセンスの削除

ライセンスサーバーPC でテストライセンスを削除します。

- (1) 削除ボタンをクリックします。
- (2) 閉じるボタンをクリックします。

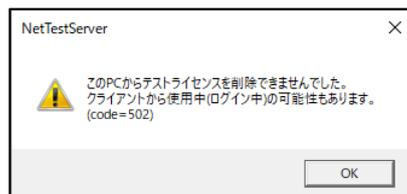


※サーバー名はライセンスサーバーPC名
KeyID はテストライセンス作成時のために生成される ID

エラーメッセージ(code=502)が表示された場合は
クライアント PC の接続が解除されていません。

[接続の解除](#)を行ったのち、テストライセンスの削除をして下さい。

※全てのクライアント PC で接続の解除を実行して下さい。



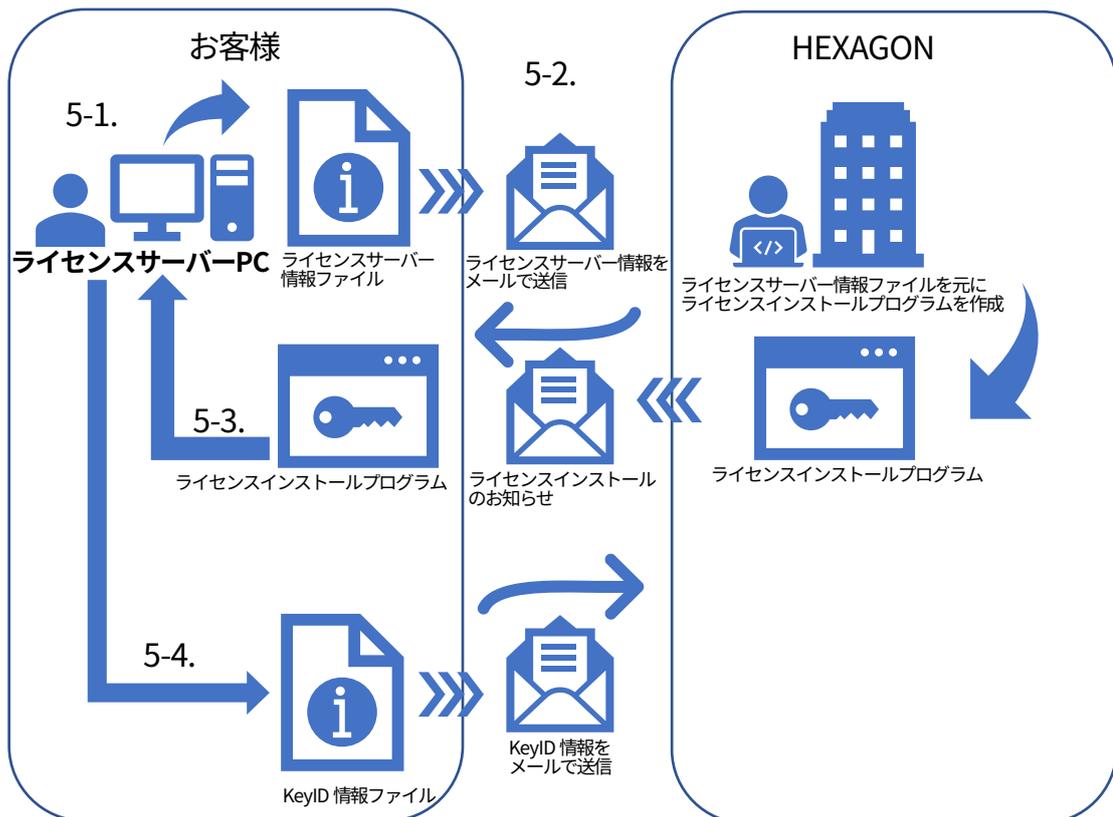
5. ネットワーク認証方式の導入手順

ネットワーク認証方式ではお客様がライセンスサーバーPCで作成するライセンスサーバー情報や既存ライセンスのKeyID情報を元にHEXAGONがライセンスインストールプログラムの作成を行います。

ネットワークライセンスのインストールには、事前にHEXAGONへライセンスサーバー情報ファイルやKeyID情報ファイルの送付が必要です。

導入時の流れ

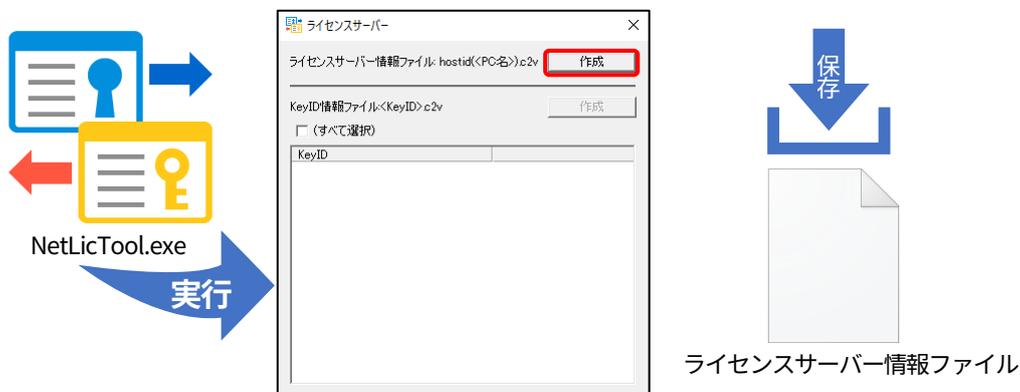
- ・ ライセンスサーバー情報ファイル: hostid(PC名).c2vの作成 (5-1.)
- ・ HEXAGONへライセンスサーバー情報ファイルの送付 (5-2.)
- ・ ライセンスサーバーでライセンスのインストール (5-3.)
- ・ KeyID情報ファイル: KeyID.c2vをHEXAGONへ送付 (5-4.)



- 5-1. ライセンスサーバー情報ファイル: hostid(PC名).c2v の作成
ライセンスサーバーPC でライセンスサーバー情報ファイル: hostid(PC名).c2v を作成します。

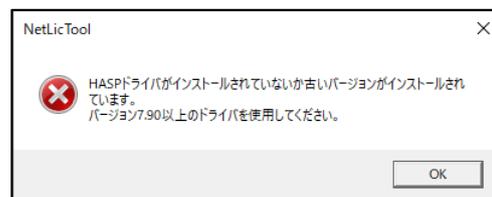
※事前に[準備とドライバのインストール](#)を行って下さい。

- (1) NetLicTool.exe を実行します。
※実行は管理者権限が付与されているユーザで行って下さい。
- (2) ライセンスサーバー情報ファイルの作成ボタンをクリックします。
- (3) 任意のフォルダに保存します。
※ファイル名は hostid(ライセンスサーバーPC名).c2v



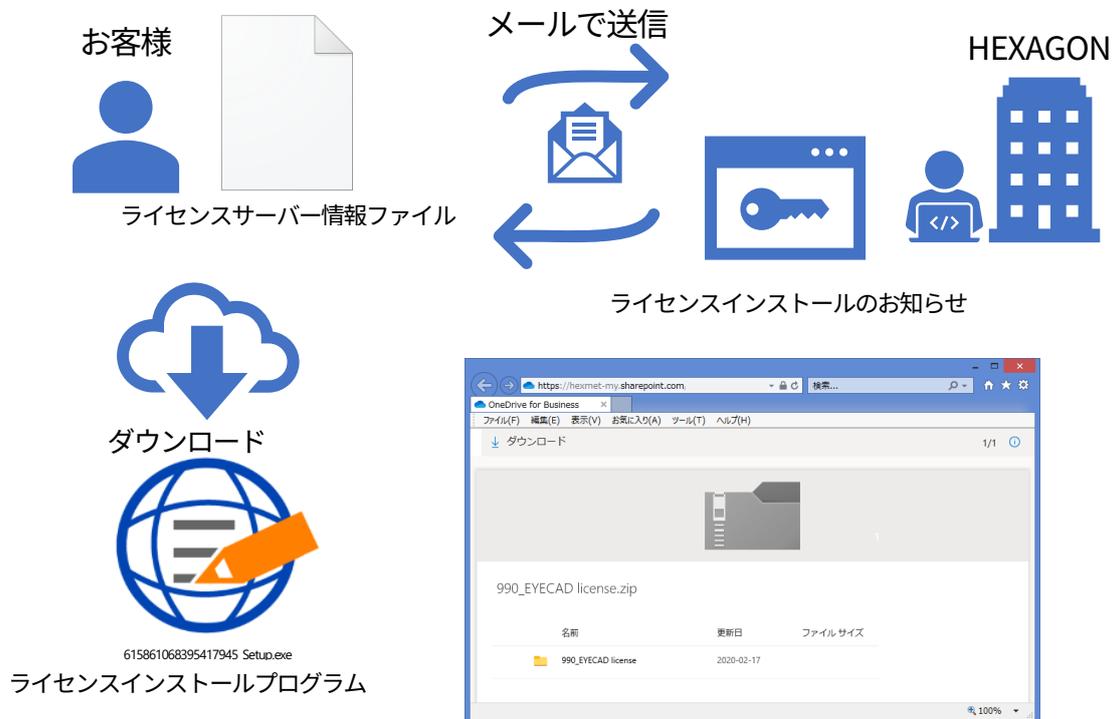
エラーメッセージが表示された場合はライセンスサーバーPC に正しい HASP
ドライバがインストールされていません。

[ライセンスサーバーPC へのドライバのインストール](#)を行って下さい。



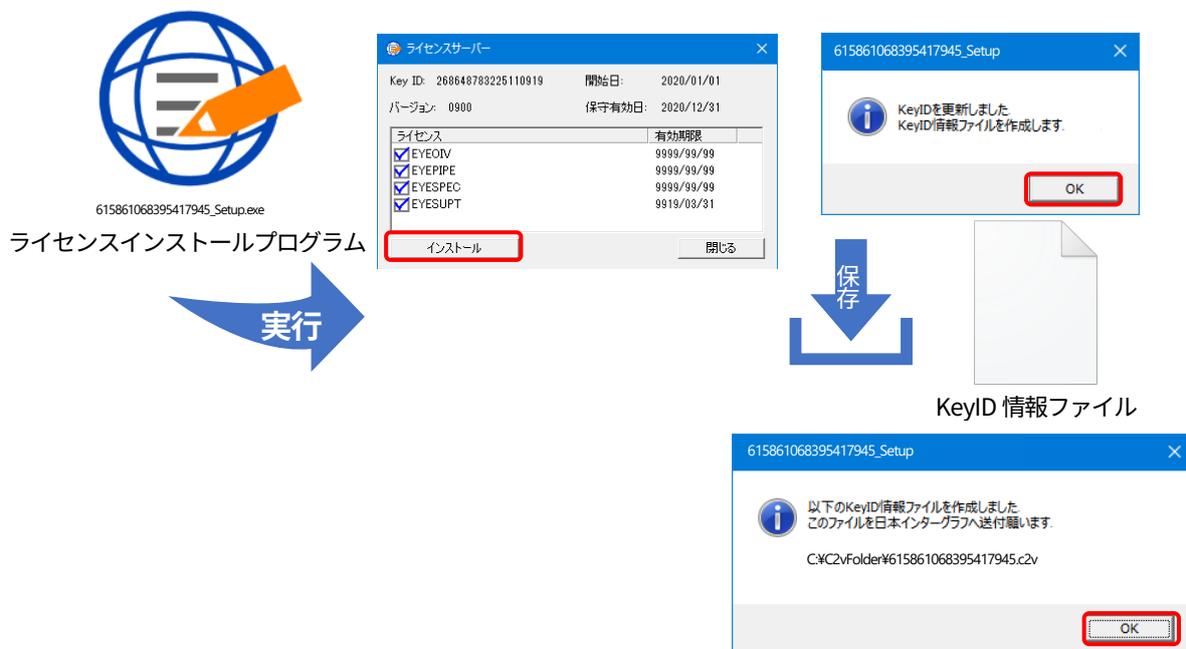
5-2. HEXAGON へライセンスサーバー情報ファイルの送付

- (1) ライセンスサーバー情報ファイルを HEXAGON へ送付します。
送付先メールアドレス:tech.jp.ppm@hexagon.com
- (2) 後日「ライセンスインストールのお知らせ」のメールが HEXAGON から届きます。
- (3) 「ライセンスインストールのお知らせ」に従ってライセンスインストールプログラムをダウンロードします。
※ライセンスインストールプログラムは KeyID ごとに作成されます。

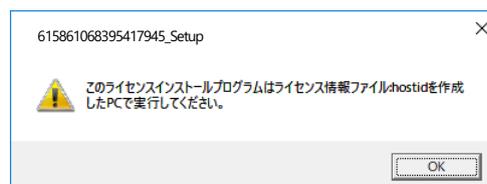


5-3. ライセンスサーバーでライセンスのインストール

- (1) ダウンロードしたライセンスインストールプログラムをライセンスサーバーPCで実行します。
 ※ライセンスインストールプログラムは KeyID ごとに作成されます。
 ※全てのライセンスインストールプログラムを実行して下さい。
- (2) インストールボタンをクリックします。
 ライセンスをインストールすると KeyID 情報ファイルを作成します。
 OK ボタンをクリックします。
- (3) 任意のフォルダに KeyID 情報ファイル:KeyID.c2v を保存します。
 OK ボタンをクリックします。



エラーメッセージ(code=50)が表示された場合は
 ライセンスサーバー情報ファイルを作成した PC と異なる PC でライセンスインストールプログラムが実行されています。
 ライセンスサーバー情報ファイルを作成した PC で実行して下さい。



5-4. KeyID 情報ファイル KeyID.c2v を HEXAGON へ送付

- (1) KeyID 情報ファイルを HEXAGON へ送付します。
送付先メールアドレス:tech.jp.ppm@hexagon.com



5-5. 最大借用可能日数の変更

ライセンスの借用機能を利用することでオフラインでの使用が可能です。

デフォルトの最大借用可能日数は 14 日間です。

ライセンスサーバーPC で最大借用可能日数の変更が可能です。

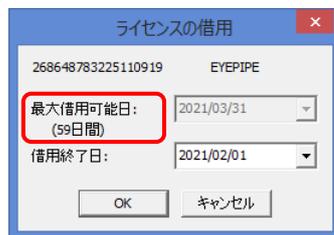
※最大借用可能日数を大きくしても、借用終了日は保守終了日以前となります。

- (1) ライセンスサーバーPC 上で NetDetachMaxDays.exe を実行します。

※実行は管理者権限が付与されているユーザで行ってください。



- (2) 最大借用可能日数を変更して OK ボタンをクリックします。
- (3) クライアント PC で借用時の最大借用可能日が更新されていることを確認してください。



※最大借用可能日数が更新されていない場合は、キャンセルしてしばらく待ってから再度、借用を実行してください

※最大借用可能日数を大きくしても、最大借用可能日数、借用終了日は保守終了日となります。

6. クライアント PC の設定

6-1. ネットワーク認証方式(Net 認証)への切替え

※ネットワーク認証方式(Net 認証)を使用する全てのクライアント PC で設定して下さい。

- (1) ランチャを起動します。
- (2) ライセンス表示ボタンをクリックします。

HASP キーが挿入されていない場合は以下のメッセージが表示されます。

はいボタンをクリックするとネットワーク認証方式(Net 認証)に切り替わります。



HASP キーが挿入されている場合は Local 認証から Net 認証へ切替えます。ネットワーク上のライセンスが表示されます。

- (3) 起動時に取得するライセンスの設定を行います。

使用するプログラムが必要なライセンスを設定して下さい。

※Net 認証の詳細については Help Manual の 01-02-6-2 以降ご参照下さい。



エラーメッセージが表示された場合は
クライアント PC に正しい HASP ドライバがインストールされていません。
[クライアント PC へのドライバのインストール](#)を行って下さい。

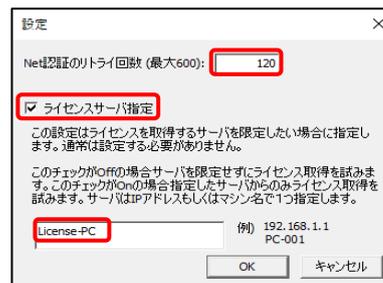


6-2. Net 認証のリトライ回数とライセンスサーバーPC の指定

必要に応じて Net 認証のリトライ回数とライセンスを取得するライセンスサーバーPC を指定する設定を行って下さい。

※クライアント PC がライセンスサーバーを兼ねている場合は、ライセンスサーバーPC に他の PC を指定しても自 PC にあるライセンスは取得可能です。

- (1) ランチャを起動します。
- (2) ライセンス表示ボタンをクリックします。
- (3) 設定ボタン(⚙️)をクリックします。
- (4) Net 認証失敗時のリトライ回数を設定します。
※認証が失敗する場合、リトライ回数を増やしてください。
- (5) ライセンスサーバー指定のチェックボックスを ON にするとライセンスを取得するサーバーを限定することができます。
ライセンスサーバーPC の IP アドレスもしくはマシン名を設定します。
- (6) OK ボタンをクリックします。

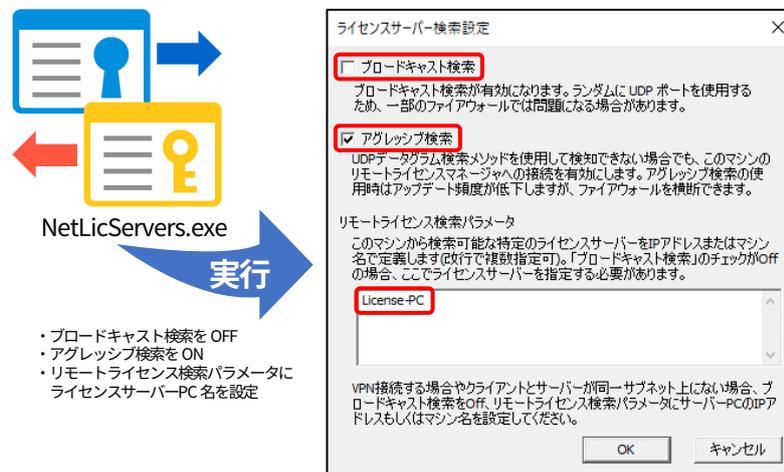


- Net 認証のリトライ回数(最大 600)
- ライセンスサーバ指定を ON
- ライセンスサーバ PC 名を設定

VPN 接続など同一サブネット外のサーバーの検索設定

VPN 接続する場合やクライアント PC とライセンスサーバー PC が同一サブネットに無い場合は別途設定を行って下さい。

- (1) EYECAD\bin の下にある NetLicServers.exe を実行します。
- (2) ブロードキャスト検索のチェックボックスを OFF にします。
- (3) アグレッシブ検索のチェックボックスを ON にします。
- (4) リモートライセンス検索パラメータにライセンスサーバー PC の IP アドレスもしくはマシン名を設定します。
※改行して設定すると複数のサーバーを指定できます。
- (5) OK ボタンをクリックします。



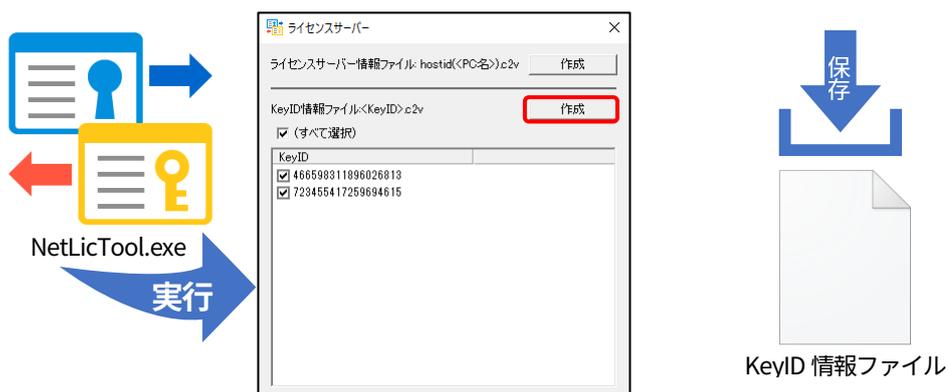
7. オプションライセンス追加・ライセンス更新の手順
オプションライセンスの追加やライセンスの更新は、現在のライセンスサーバーPCのKeyID情報ファイルが必要です。

7-1. KeyID 情報ファイル KeyID.c2v の作成

ライセンスサーバーPC で KeyID 情報ファイル KeyID.c2v を作成します。

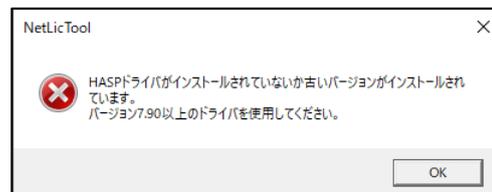
※事前に[準備とドライバのインストール](#)を行って下さい。

- (1) NetLicTool.exe を実行します。
※実行は管理者権限が付与されているユーザーで行って下さい。
- (2) KeyID をすべて選択します。
- (3) KeyID 情報ファイルの作成ボタンをクリックします。
- (4) 任意のフォルダに保存します。
※KeyID ごとにファイルが作成されます(ファイル名は KeyID.c2v)



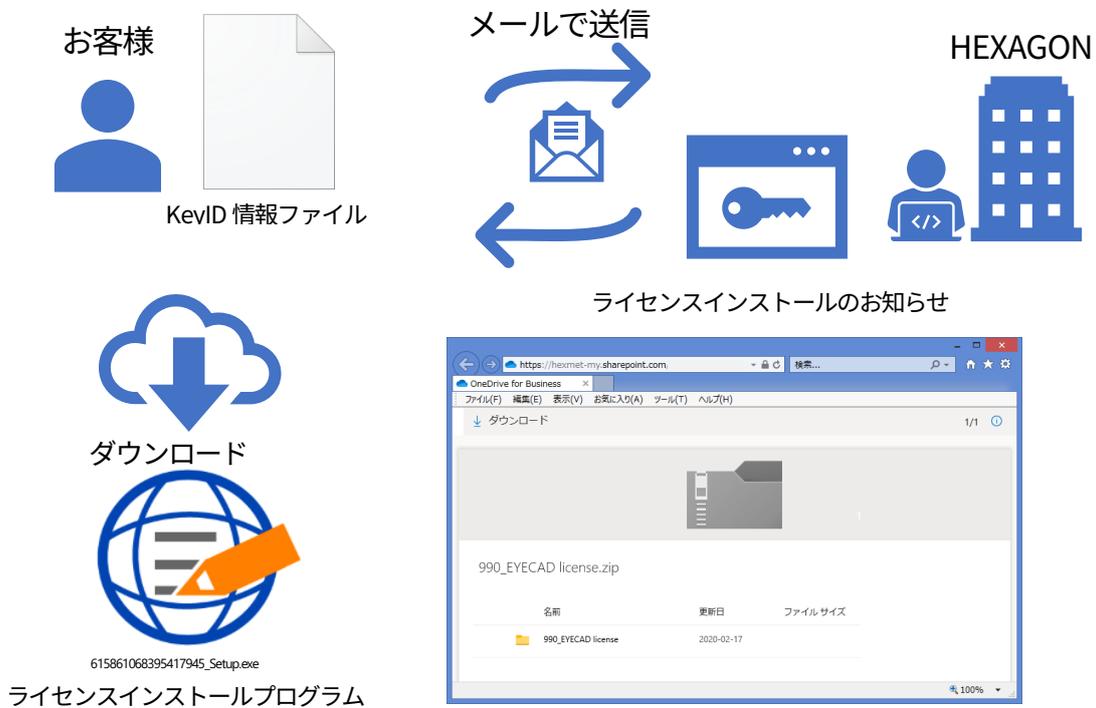
エラーメッセージが表示された場合はライセンスサーバーPC に正しい HASP
ドライバがインストールされていません。

[ライセンスサーバーPC へのドライバのインストール](#)を行って下さい。



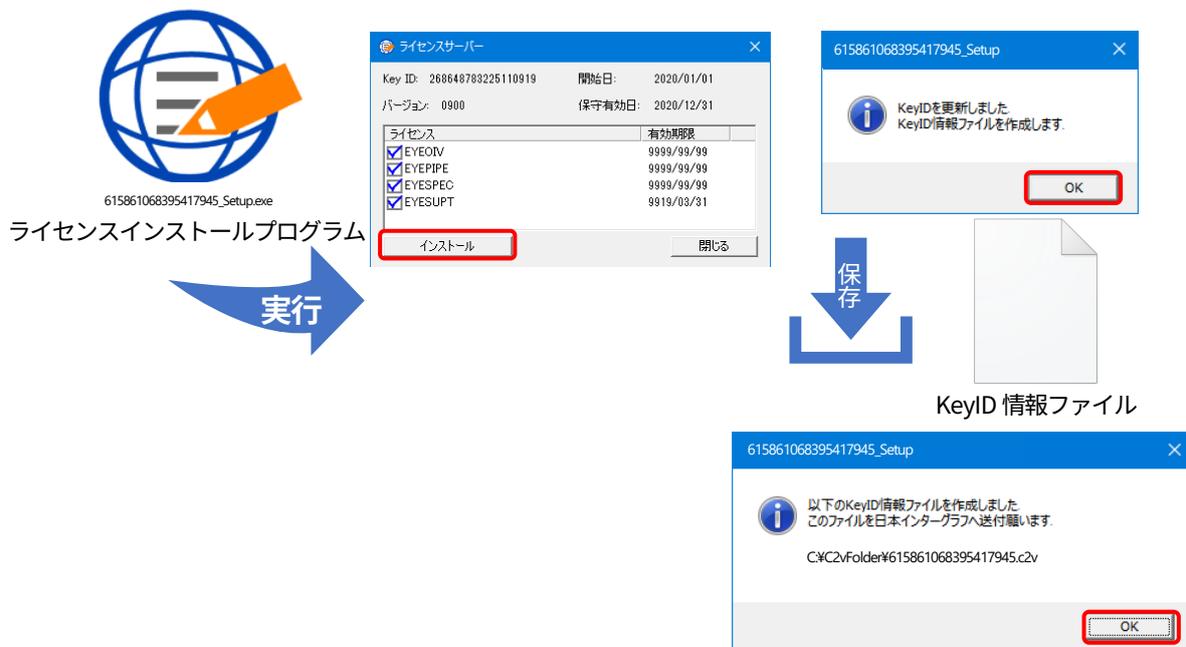
7-2. KeyID 情報ファイル KeyID.c2v を HEXAGON へ送付

- (1) KeyID 情報ファイルを HEXAGON へ送付します。
送付先メールアドレス:tech.jp.ppm@hexagon.com
- (2) 後日「ライセンスインストールのお知らせ」のメールが HEXAGON から届きます。
- (3) 「ライセンスインストールのお知らせ」に従ってライセンスインストールプログラムをダウンロードします。
※ライセンスインストールプログラムは KeyID ごとに作成されます。

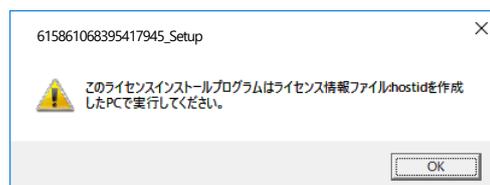


7-3. ライセンスサーバーPCでライセンスのインストール

- (1) ダウンロードしたライセンスインストールプログラムをライセンスサーバーPCで実行します。
 - ※ライセンスインストールプログラムはKeyIDごとに作成されます。
 - ※全てのライセンスインストールプログラムを実行して下さい。
- (2) インストールボタンをクリックします。
 - ライセンスをインストールするとKeyID情報ファイルを作成します。
 - OKボタンをクリックします。
- (3) 任意のフォルダにKeyID情報ファイル:KeyID.c2vを保存します。
 - OKボタンをクリックします。

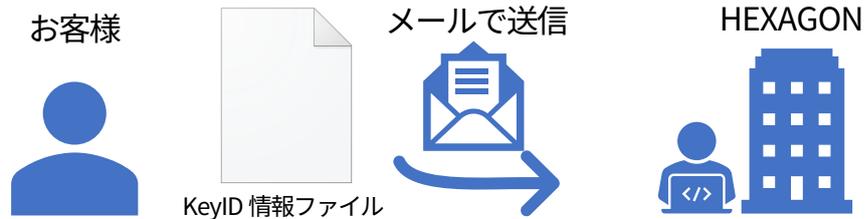


エラーメッセージ(code=50)が表示された場合は
 ライセンスサーバー情報ファイルを作成したPCと異なるPCでライセンスインストールプログラムが実行されています。
 ライセンスサーバー情報ファイルを作成したPCで実行して下さい。

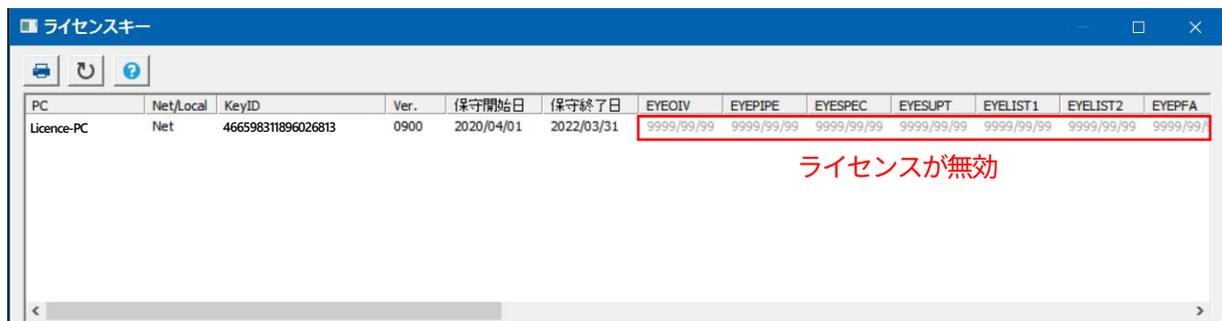


7-4. KeyID 情報ファイル KeyID.c2v を HEXAGON へ送付

(1) KeyID 情報ファイルを HEXAGON へ送付します。

送付先メールアドレス:tech.jp.ppm@hexagon.com

8. ライセンスサーバーPC 故障時におけるライセンス回復の手順
PCの故障などによりマザーボードやOSがインストールされているドライブの交換(データはバックアップからのリストア)など行うとライセンスが複製されたものとして扱われ、ライセンスキーは無効となります。
ライセンスキーが無効になると、ライセンスキーの確認ではライセンスの日付がすべてグレー表示となります。
ライセンスの回復は、HEXAGONへライセンスのKeyID情報ファイルを送付する必要があります。



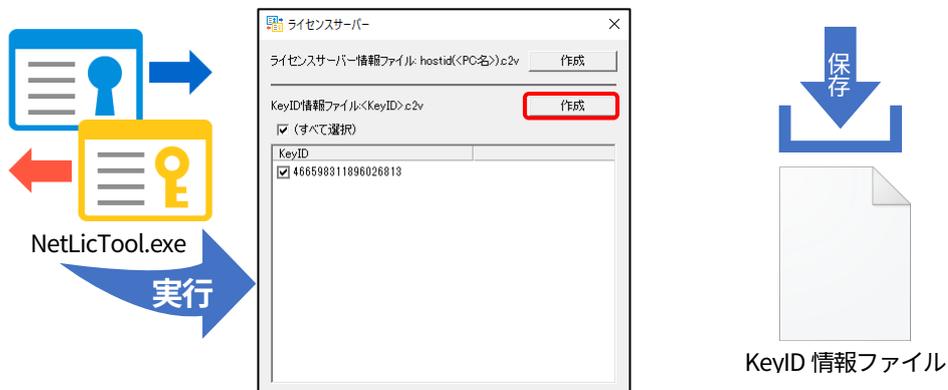
※マザーボードの交換とディスクの交換を同時に行った場合はライセンスキーが表示されません。
この場合はライセンスの回復はできません。

8-1. KeyID 情報ファイル KeyID.c2v の作成

ライセンスサーバーPC で KeyID 情報ファイル KeyID.c2v を作成します。

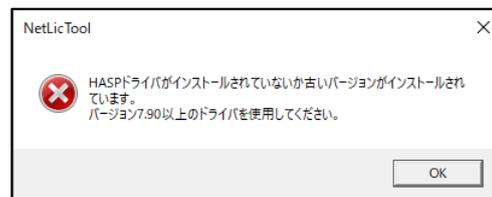
※事前に[準備とドライバのインストール](#)を行って下さい。

- (1) NetLicTool.exe を実行します。
※実行は管理者権限が付与されているユーザで行って下さい。
- (2) KeyID をすべて選択します。
- (3) KeyID 情報ファイルの作成ボタンをクリックします。
- (4) 任意のフォルダに保存します。
※KeyID ごとにファイルが作成されます(ファイル名は KeyID.c2v)



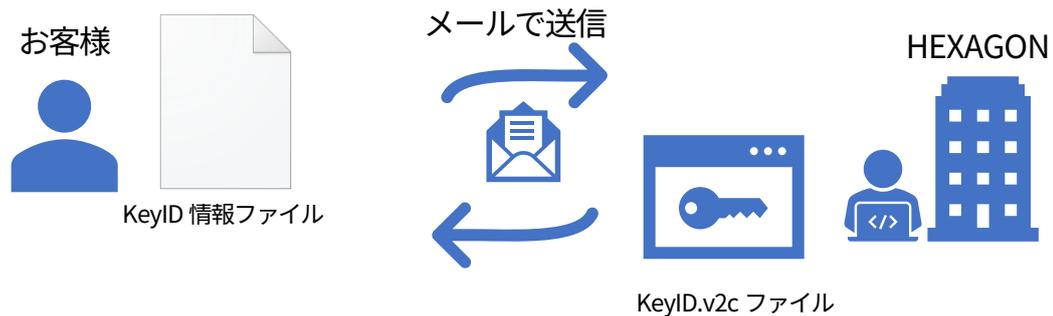
エラーメッセージが表示された場合はライセンスサーバーPC に正しい HASP
ドライバがインストールされていません。

[ライセンスサーバーPC へのドライバのインストール](#)を行って下さい。



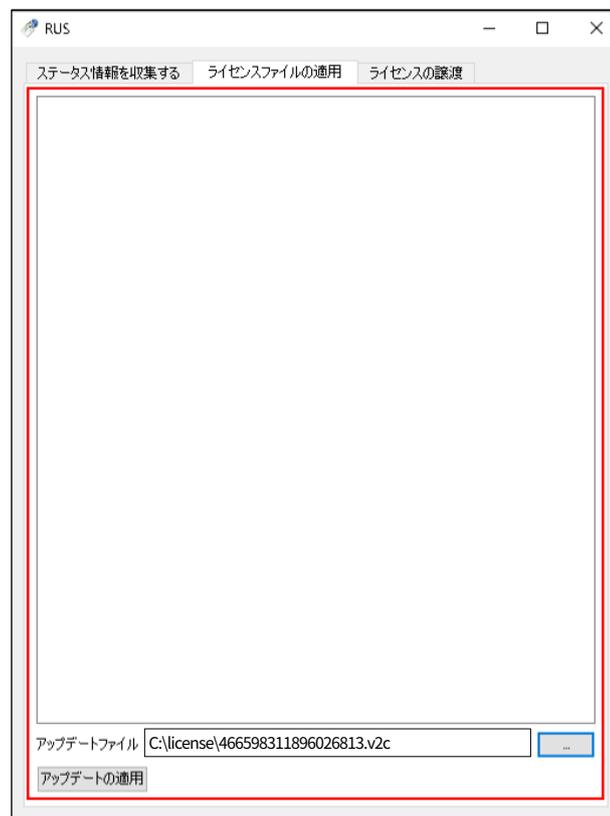
8-2. KeyID 情報ファイル KeyID.c2v を HEXAGON へ送付

- (1) KeyID 情報ファイルを HEXAGON へ送付します。
送付先メールアドレス:tech.jp.ppm@hexagon.com
- (2) 後日、KeyID.v2c ファイルが HEXAGON から届きます。
※KeyID.v2c ファイルは KeyID ごとに作成されます。



8-3. ライセンスサーバーで KeyID の回復

- (1) ライセンスサーバーで RUS_QTQMC.exe を実行します。
- (2) 「ライセンスファイルの適用」タブ、「アップデートファイル」に 8-2.で受領した KeyID.v2c ファイルを読み込み「アップデートの適用」ボタンをクリックします。
ライセンスの回復が正常に完了すると終了メッセージ「アップデートは正常に書き込まれました」が表示されます。
KeyID.v2c ファイルが複数ある場合は、(2)を KeyID 分繰り返します。



9. ネットワーク認証方式 Q&A

9-1. 基本

Q.1-1 ネットワーク認証方式とはどのようなものですか？

A.1-1 ネットワーク認証方式はネットワーク上のライセンスサーバーPC で EYECAD ライセンス情報を管理する方式です。

EYECAD ライセンス情報が設定された KeyID をライセンスサーバーPC に作成します。KeyID は従来の HASP キーに相当するもので固有の番号を持ちます。各クライアント PC で EYECAD プログラムを実行する際この KeyID に設定された EYECAD ライセンス情報を確認します。

Q.1-2 V8 以前のバージョンの EYECAD でネットワーク認証方式は使用可能ですか？

A.1-2 使用できません。

Q.1-3 自社のネットワーク環境で使用可能か事前に確認できますか？

A.1-3 事前確認用のプログラムを提供しています。

Q.1-4 HASP ライセンスと KeyID ライセンスは同時使用できますか？

例えば HASP ライセンスに EYEPIPE、KeyID に EYESUPT がある場合、HASP ライセンスで Mrout 起動し、KeyID の EYESUPT を使用できますか？

A.1-4 HASP ライセンスと KeyID ライセンスは同時使用できません。

Q.1-5 「ライセンス表示」プログラムで Net 認証に切り替えても「ネットワークライセンスがみつかりません」と表示されます。

A.1-5 ネットワークライセンスが必要です。詳しくは「EYECAD ネットワーク認証方式導入手順書」を参照してください。

9-2. 使用環境

Q.2-1 仮想環境の PC をライセンスサーバーPC として使用可能ですか？

A.2-1 クラウド環境の仮想マシンをライセンスサーバーとしてご使用できます。

クラウド環境でご使用の場合、営業もしくは技術担当へご相談ください。

EYECAD 対応 Ver.は 9.10.00 以降が必要です。

サポートするクラウド環境は Amazon EC2、Microsoft Azure、Google Cloud Platform、Alibaba Cloud の仮想マシンとなります。

※デスクトップ環境の仮想マシンはライセンスサーバーとしてご使用できません。

※仮想マシンを複製した場合は複製ライセンスは無効となります。

Q.2-2 Windowsの「リモートデスクトップ接続」でEYECADを使用可能ですか？
A.2-2 接続先PCでネットワーク認証方式が使用可能であればEYECADは使用可能です。

Q.2-3 VPN接続でネットワーク認証方式は使用可能ですか？
A.2-3 VPN環境やライセンスサーバーPCとクライアントPCは同一のサブネットにない場合はライセンスサーバー検索の設定が必要です。
※お客様の環境によっては、ご使用できない場合があります。
その際は別途ご相談お願いします。

9-3. ライセンスと保守

Q.3-1 ネットワーク認証方式の使用にはソフトウェア保守契約が必須ですが、一部のソフトウェアの保守契約を解約した場合どうなりますか？

A.3-1 保守更新しないライセンスは保守期限日が過ぎると動作しなくなります。ソフトウェア使用権は残るので実際に使用するにはKeyID上のライセンスをLocalHaspに移行する必要があります。移行は有償です。
例) EYEPIPEとEYESUPTを購入、2021/03/31でEYESUPTの保守契約解除の場合（EYEPIPEは保守更新中）
保守終了日：2022/03/31, EYEPIPEの有効期限：9999/99/99, EYESUPTの有効期限：9921/03/31
2021/01/31にEYECAD V9.10がReleaseされたとすると、V9.10は2021/03/31時点ではEYEPIPE,EYESUPTともに実行可能ですが、2021/04/01になるとEYEPIPEは実行可能ですがEYESUPTは実行不可となります。LocalHaspの場合2021/04/01でもV9.10はEYEPIPE,EYESUPTとも実行可能です。

Q.3-2 ライセンス構成を変更できますか？(オプションのEYESUPTを追加など)

A.3-2 変更可能です。
ライセンス構成が変わるときはKeyIDを更新する必要があります。KeyIDの作成と更新方法については「EYECAD ネットワーク認証方式導入手順書」を参照願います。

Q.3-3 保守対象外(EYEOIV,EYEOORDER など)や販売終了 (Conv3D など) しているソフトウェアライセンスのある HASP をネットワーク認証方式に移行できますか？

A.3-3 移行可能です。

ただし保守対象外、販売終了しているソフトウェアは V9 では対応していないため、これらのソフトウェアを使うには KeyID から LocalHasp にライセンスを戻す必要があります。ライセンスの移行は有償です。

Q.3-4 ライセンスサーバーPC が故障した場合、登録されているライセンスどうなりますか？

A.3-4 PC の故障などによりマザーボードや OS がインストールされているドライブの交換(データはバックアップからのリストア)など行うとライセンスが複製されたものとして扱われ、ライセンスキーは無効となります。

ライセンスの回復は、HEXAGON へライセンスの KeyID 情報ファイルを送付する必要があります。

マザーボードと OS がインストールされているドライブを同時に交換した場合にはライセンスが消滅してしまいます。

例えば、OS ドライブが故障してもマザーボードに変更がなければそのドライブのバックアップから新しいドライブにリストアすればライセンスは回復可能です。

ライセンスサーバーPC のバックアップは起動ドライブ全体もしくはディスクのクローンを必ず作成してください。

弊社で実績があるのは以下のバックアップツールです。

- Acronis True Image
- EaseUS Todo Backup
- Windows の標準機能のシステムイメージの作成

ドライブ内の全てのフォルダやファイルをバックアップしたものを新しいドライブにコピーした場合はライセンスが無効となります。

不明点がございましたら弊社サポートまでご相談下さい。

9-4. ソフト起動のライセンス

Q.4-1 使用するライセンスは選択可能ですか？

例えば EYESUPT を使わない作業者が EYESUPT を使用しないようにする方法はありますか？

A.4-1 「ライセンス表示」プログラムで使用するライセンスの On/Off が個別に設定可能です。

Q.4-2 Mrview を起動すると EYEPIPE と EYEVIEW-LT のどちらのライセンスを使用しますか？

A.4-2 Mrview は EYEVIEW-LT→EYEPIPE の順でライセンス情報を確認します。EYEVIEW-LT が見つければそのライセンスを使用します。

Q.4-3 1つの PC で Mrout 起動後、Mrview を起動すると EYEPIPE と EYEVIEW-LT の両方のライセンスを使用するのですか？

A.4-3 その通りです。「ライセンス表示」プログラムで EYEVIEW-LT のライセンス取得を Off にすれば EYEPIPE のライセンス消費だけで済みます。

9-5. ライセンスの借用

Q.5-1 外出先などのオフラインで使用することはできますか？

A.5-1 ライセンスの借用機能を利用することでオフラインでの使用が可能です。ライセンスの借用機能は期間を指定してクライアント PC に一時的に KeyID 作成しその KeyID にライセンスを借用します。借用期間が過ぎるとクライアント PC の KeyID は自動的に削除され、ライセンスサーバー PC に返却されます。

Q.5-2 ライセンスを借用した PC を別のネットワークに接続し、ライセンスサーバー PC として使用することはできますか？

A.5-2 借用した PC 以外では使用できません。

Q.5-3 ライセンスを借用した後、ライセンスサーバー PC に強制的にライセンスを返却させる事は可能ですか？

A.5-3 ライセンスを借用した PC とライセンスサーバー PC が同一ネットワーク上にあれば可能です。ネットワークにつながっていない場合はできません。返却は借用した PC からのみ可能です。ライセンスサーバー PC から強制的にライセンスを戻すことはできません。※借用期間が過ぎると自動的に返却されます。

Q.5-4 KeyID 内のライセンス(一部または全部)が借用中の場合、オプションの追加や保守更新をすることは可能ですか？

A.5-4 できません。

オプションの追加や保守更新時はサーバーで KeyID の更新が必要です。KeyID の更新には KeyID 内全ての借用ライセンスの返却が必要です。※KeyID 内の全てのライセンスが返却状態にならないと更新出来ません。

Q.5-5 KeyID 内のライセンス(一部または全部)が借用中の場合、ライセンスサーバー PC 上の他の KeyID のオプションの追加や保守更新をすることは可能ですか？

A.5-5 KeyID ごとに更新しますので借用中ではない他の KeyID は更新可能です。

Q.5-6 ライセンスの借用期間は最大何日間ですか？

A.5-6 デフォルトの最大借用可能日数は 14 日間です。

ライセンスサーバーPC で最大借用可能日数の変更が可能です

変更手順は[最大借用可能日数の変更](#)をお読みください。

※最大借用可能日数を大きくしても、借用終了日は保守終了日以前となります。

10. お問い合わせ

本書に関するお問合せは、下記までお願いいたします。

保守契約、製品購入のお問合せ先：

HEXAGON Asset Lifecycle Intelligence division

Mobile : 070-7578-6098

TEL : 045-640-1193

EYECAD 技術的なお問合せ先：

HEXAGON Asset Lifecycle Intelligence division

EYECAD

TEL : 045-640-1193

E-Mail : tech.jp.ppm@hexagon.com